

国立アジア 文化殿堂の 冬、

12

—

ACC Program Guide Winter

韓国の神話と最先端の 舞台技術の素晴らしいコラボ

『ACC創制作大型公演：MUSA(武士)-不滅の英雄たち』

『ACC創制作大型公演：MUSA武士-不滅の英雄たち』は、韓国の神話をモチーフに、壮大な物語を具現化することで、クラシックなキャラクターをドラマチックに蘇らせる。国内最大規模のブラックボックス公演会場「劇場1」の長所を最大限に活かし、劇場を伝統的な神話が繰り広げられる幻想的な空間として表現する。最先端の舞台技術が融合されたU字型の舞台を中心に、スクリーンと舞台の床の区分をなくし、観客が映像と空間の中に没入することができるように試みられている。客席と舞台という二分法に基づいた構造から脱却し、ドラマチックな演技と韓国の伝統的なアクトバット、マーシャルアーツ、アクトバティック、ワイヤーアクションなど、魔法のような場面の切替が、観客の目の前で披露される。



🕒 12.20(金) 19:30, 12.21(土) 15:00, 19:00 📍 芸術劇場・劇場1
👤 6歳以上 🎫 一般席50,000ウォン、サイド席30,000ウォン

自律走行大型ロボット工学 ショーケース

自律走行大型ロボット工学ショーケース



設置作業に関するイメージ2019,image, 自律走行の実演

国立アジア文化殿堂・創制作センターと浦項(ポハン)工科大学校パーク・ジュホン教授の研究チームが共同で開発している大型ロボットに出会える場が設けられる。今回のショーケースでは、テンセグリティ(建築分野でつくられた用語で、Tension(張力)とIntegrity(統合)の造語)の構造を利用して開発された大型ロボットが自ら空間を把握し、観客や障害物などを認識することで避けて通るという自律走行を披露する予定。このロボットは大きさ2m×1.7mの生体模倣(biomimetic)ロボットで、周辺の背景や物の特定の形、色の違いなどで人など物体を認識し、認識された物体の座標を把握して避けるという、自律走行が可能である。

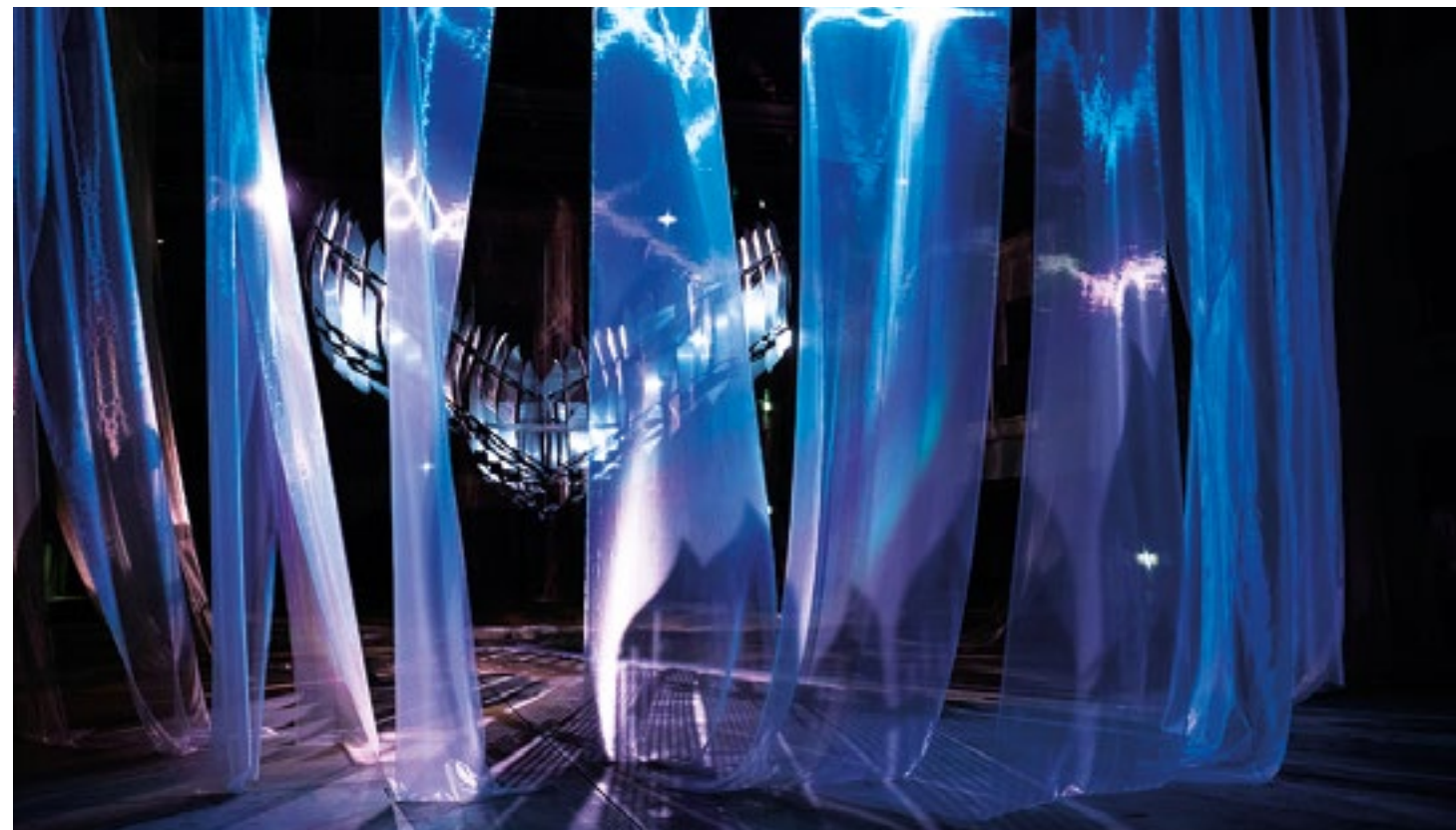
さらに、ショーケースの期間中、子供文化院では大型ロボットの縮小版を利用した体験イベントも同時に行われる。

今回のイベントは、第4次産業技術のロボットと文化芸術が融合するという、差別化された融合・複合コンテンツ体験を人々に提供する場になると期待している。

🕒 12.10(火)~22(日) 10:00~18:00 📍 文化創造院・複合5館
👤 全年齢向け 🎫 無料

『2019 ACC_R Creators in Labショーケース』

『2019 ACT Creators in Labショーケース』



『マディ・パラム』、キネティックサンド設置、ステンレス鋼、アルミニウム、オーガンザ、電子機器、201チョン・ジヨン8 Creators in Labショーケース、国立アジア文化殿堂提供

芸術やテクノロジーをベースに作業を行うアーティストと多分野の専門家たちとともに未来志向のアイデアを共有し、実験的なプロジェクトを支援するクリエイターズ・イン・ラボは、今回下半期の『Food&Tech』に引き続き、下半期には『Art&Science』をテーマに、ACTショーケースを披露する。国際公募で選ばれた7人のクリエイターたちは、科学技術に基づき、宇宙科学、未来のオルタナティブな自然など、現在社会を洞察し探索した様々なプロジェクトを、ショーケースとして展示する予定である。

🕒 12.5(木)~12.15(日) 📍 文化創造院ACTスタジオ2、3
👤 満7歳以上 🆓 無料

『2019黒い川、隠れた森 -6 sense』

テレプレゼンス技術ベースのマルチ時空体験展



すべての物は時間の中で変化し、動く。我々はそれを見て体験するのみ。我々はその瞬間を写真に収めて記録し、大切にしまっておく。最近、メディアや通信が急速に発展し、実際の時空と仮想の時空が混在する現象が起きている。今、実際の体験と仮想の体験の混沌とした世界が繰り広げられている。「何が現実か？」について、新たな解釈が必要な時代が到来したのである。我々は「今・ここ」、そして「私」という時空間の実体に対する省察が必要な状況に直面している。本展示は、ナ・ジユの「隠れた森」の時空間とその中で生きる命を、光州(クァンジュ)の大規模の展示場に移し、新しい時空間と命の饗宴を体験させ、分かち合うことを試みる。

🕒 12.10(火) 14:00 📍 文化創造院・複合1館
👤 全年齢向け 🎫 有料

トラと木こりの家族の物語

昔ばなし劇『トラのはなのみち』

昔ばなし『親孝行のトラ』を現代的にアレンジした劇。昔ばなしでは欲張りで愚かな存在として描かれたトラを、気弱で愛らしい温かい存在として表現しています。「関係を結ぶ」過程のエピソードを入れることで、世代を超えて共感してもらえる普遍的な物語となったこの劇は、利他主義と家族愛をそれぞれの立場で感じてもらうきっかけづくりを試みています。トラのクムモンと木こりのスンモン、さらには鬼のトッケビも登場しますので、物語はさらに多彩に展開します。



🕒 12.7(土)~12.8(日) 11:00, 15:00 📍 子供文化院・子供劇場
👤 36ヶ月以上 🎫 10,000ウォン(非指定席)

国楽童謡、トラ將軍 歌と振付のある時間

仮面人形劇『小豆粥ばあさんとトラ』シーズン2『トラ、わたしとあそぼう』

幼児の発達レベルを考慮し、楽しい音楽と動作を取り入れることで、親と幼児がタルチュム（仮面舞）、国楽童謡、リズム、振り付け、トラ舞、人形など伝統的な文化・芸術に親しむことができるように企画された公演。トラ舞を学び、仮面をかぶってトラの真似をすることで創造性を刺激する表現活動を提供する。5マダンで構成されたプロットに沿って、トラを探し求める婆さんとトラの変身、トラ舞体験を、家族と一緒に楽しむことができる。



📅 12.7(土) ~ 12.8(日) 11:00, 15:00 📍 子供文化院・子供劇場
👤 36ヶ月以上 🎫 10,000ウォン(非指定席)

日本の文化人類学者の視点から見た 韓国の台所の変化

コンテンツ院キャンパス12月公開特別講義



羅州(ナジュ)・南坡(ナムバ) 古宅の台所2019、光州大学提供

台所と食文化をテーマに8月から6回にわたって公開特別講義を開催している。最後を飾る12月の特別講義は、東アジアの食文化全般について振り返る時間となり、食と文化を巡り研究を続けてきた人類学者、朝倉敏夫教授(立命館大学)が講座を担当する。日本の人類学者の視点から韓国の台所の変化を概観し、韓国社会と文化の断面を窺うことで台所と食をめぐる問題について解説する。これまでの公開特別講義は、冷蔵庫、台所、食材、ベトナム料理、ベジタリアン、適正技術など、食文化と台所という空間に関する様々な問題を扱ってきた。

コンテンツ院キャンパス事業を共同で行うアジア文化院と光州大学は、公開特別講義をきっかけに、VR実感メディア・アジア料理文化の記録コンテンツを開発する予定であり、その結果は2020年2月に、ACCにおいてショーケースとして公開する予定である。

📅 12.6(金) 15:00 📍 文化情報院・劇場3
👤 満12歳以上 🎫 無料

胸にしまった 「五月光州」物語

「五月光州」の過去と現在を詩とエッセイで触れる

3年間の中長期事業の一環として昨年に引き続き、今年も行われる。地元の作家とのコラボで、「五月光州」の家族が語る「五月光州」の過去と現在を詩とエッセイで創作し、本として刊行することで5・18民主化運動をアジアに向けて発信する。

39年間、「五月光州」の家族の心に刻まれたその日の痕跡を、詩とエッセイで紡ぐことで彼らの生き方を歴史に記録するという意図で企画された。市民と共有することで「五月光州」の家族の傷を癒す和合の時間になることを期待する。



カザフスタンの春祭ナウルーズ にまつわる面白い昔ばなし

ACC創制作子供向け公演「新年はどの季節から始まるかな？」

子供の目線から見た四季と、中央アジア・カザフスタン最大の年中行事「ナウルーズ」について、子供向け公演が繰り広げられる。西洋の国々は1月1日、韓国と中国などでは旧暦1月1日に新年を迎える。ところがモンゴルとカザフスタンでは春に新年が始まる。すべてが新しく生まれるという意味で春祭「ナウルーズ」の物語を、人形とオブジェ、魔術が融合した公演で披露する。童心で表現した四季と新年の新しい感覚が感じられる時間になるだろう。



📅 12.14(土) ~ 12.15(日) 11:00, 15:00 📍 子供文化院・子供劇場
👤 5歳以上 🎫 10,000ウォン(非指定席)

2019ACC除夜コンサート

2019年を締めくくり、
新しい一年を迎える大切な夜



愛する人と大切な時間を過ごす
2019国立アジア文化殿堂・除夜コンサート

2015年に開館して以来5回目を迎える除夜コンサートで、今年も皆様とともに新年を迎えます。

今年一年、国立アジア文化殿堂が披露してきた作品のガラ公演、ビッグバンドのブラソニットによる華やかで楽しい音楽をもって、皆様の2019年を特別な色で彩ってください。

📅 12.31(火) 19:30 📍 芸術劇場・劇場1
👤 8歳以上 🎫 R席 70,000ウォン、S席 50,000ウォン、A席 30,000ウォン



2019年12月-2020年2月

島々の国、ヌサンタラ

国立アジア文化殿堂開館4周年記念特別展

国立アジア文化殿堂は、オランダ・デルフト市とMOUを締結し寄贈を受けたヌサンタラコレクションを、開館4周年特別展で初めて公開する。「インドの向こうにある島々」インドネシアは、約350の種族と450種以上の言語などが混在する多種多様な文化の代表格である。今回の展示では20世紀半ばにインドネシアが単一国家として独立する前、自らを「島々の国」ヌサンタラとして謳った彼らの絵画・彫刻・織物など約200点を紹介する。



『デウィ・スリ像』、木・硬貨・糸、
37×11.5cm

📅 2019.11.22(金)～2020.6.21(日) *(火-日) 10:00-18:00(水、土) 10:00-19:00

📍 ライブラリーパーク・企画館3 🗺️ 全年齢向け 🆓 無料

彫刻と工芸の接点で出会う 同時代の芸術

『工作人：現代彫刻と工芸との間』



彫刻とは何か？工芸とは何か？人間の手の役割が光る彫刻と工芸品の接点で花を咲かせた同時代の芸術作品を一覧する場を設けた。『工作人：現代彫刻と工芸との間』は、工芸(craft)技術に基づいて実現させた現代彫刻(sculpture)が1990年代以降、スポットライトが当てられたが、それらを新しい視点で展望する。本展示は、現代のインスタレーションや彫刻のアーティストたちが所属する地域の伝統的な手工芸の方法と長い時間彫刻や工芸品の接点で行き来したジャンルの

妥当性に関する形式的なアプローチを見せようと試みてきた。これは、道具を使い制作する「工作人(Homo Faber)」として人間を把握することであると同時に、現代彫刻家のメタファーでもあり、彫刻が見せる形式性の向こう、つまり政治的、社会的、文化的なコンテクストを具体化するだけでなく、現代彫刻の今について、新しい解釈を提示するものである。

『工作人：現代彫刻と工芸の間』展では、世界7カ国14人のアーティストが語る、同時代の芸術作品の中の彫刻と工芸品の魅力を、観客の皆様にご満喫していただけると期待している。

参加アーティスト

ブイ・コン・カーン BUI Công Khánh
カン・ソギョン Suki Seokyeong KANG
ギム・ボム KIM Beom
リュウ・ウェイ LIU Wei
マイーチュウ・ペレ Mai-Thu PERRET
ソピアアップ・ピッチ Sopheap PICH
マシュー・ローナイ Matthew RONAY
トーマス・シュッテ Thomas SCHÜTTE
ソ・ドホ Do Ho SUH
ローズマリー・トロツケル Rosemarie TROCKEL
パロマ・ヴァルガ・ヴェイス Paloma VARGA WEISZ
クラウディア・ヴィーザー Claudia WIESER
ヤン・ヘギュ Haegue YANG
イン・シウジェン YIN Xiuzhen

📅 2019.9.5(木)～2020.2.23(日)

📍 文化創造院・複合3・4館全

🗺️ 全年齢向け 🎫 有料

「移住」について、 近くで語る

移住について考え、話し合う物語の空間

移住の物語 (Migration- Speaking Nearby)

国立アジア文化殿堂-ドイツ文化院の国際交流協力展示

交通や情報通信技術の進歩、そして資本主義経済の全地球化は、資本・情報・物・人間・文化の移動性を拡大させ、今を「移住の時代」に特徴づけている。超国家的な移住は、既存の「国民国家」システムに亀裂をきたし、地球レベルで社会的・文化的変化の中核となる動力として働いている。今では、社会と文化を理解する上で重要な問題として位置づけられている。アジアの多国籍キュレーター9人と、21チームのアーティストが参加する今回の展示は、アジア地域における移住の多様性と層位を、様々な視点や物語で紹介し、芸術と移住の関係について掘り下げることで移住に関する思惟と視点を共有し、拡大していく。

*本展の英語タイトル「Speaking Nearby」は、映画製作者であり作曲家で学者のトリン・T・ミンハ (Trinh T. Min-Ha) がインタビューで述べた言葉を借用したものである。本展は、トリン・T・ミンハの映画の再現に関する複合した省察を反映する言葉を、本展の作品が移住というテーマに触れる様々な視点や方法、態度を貫く意味のある概念として取り入れている。



Ming Wang, *Sunu Jappo / 手拉手 / Hand in Hand*, 2019

Mixed media, Single-channel video (color, sound, 14min 36sec), Costume made of printed fabric, Article by the Chinese President on Senegalese newspaper "Le Soleil", Co-commissioned by Goethe-Institut Korea, China, Hong Kong



Byambanyam Urtnasan, Tuguldur Munkh-Ochir, Munkhbaatar Surenjav (Bodikhuu), Enkhbat Natsagdorj, *Migration of Memories*, 2019

Three-channel-video installation, B&W, Color, Sound, 20min, Commissioned by Arts Council of Mongolia, Supported by Arts Council of Mongolia-USA and Shining Horses Fellowship



Genevieve Quick, *Planet Celadon: Our Receiver is Operating*, 2018

Three-channel-video installation, Color, Sound, 20min

📅 2019.11.23(土) ~ 2020.2.23(日) 📍 文化創造院・複合2館
👤 全年齢向け 🎫 有料

アジアの民主・人権・平和 ネットワーク特別展示

アジア女性の人権と平和

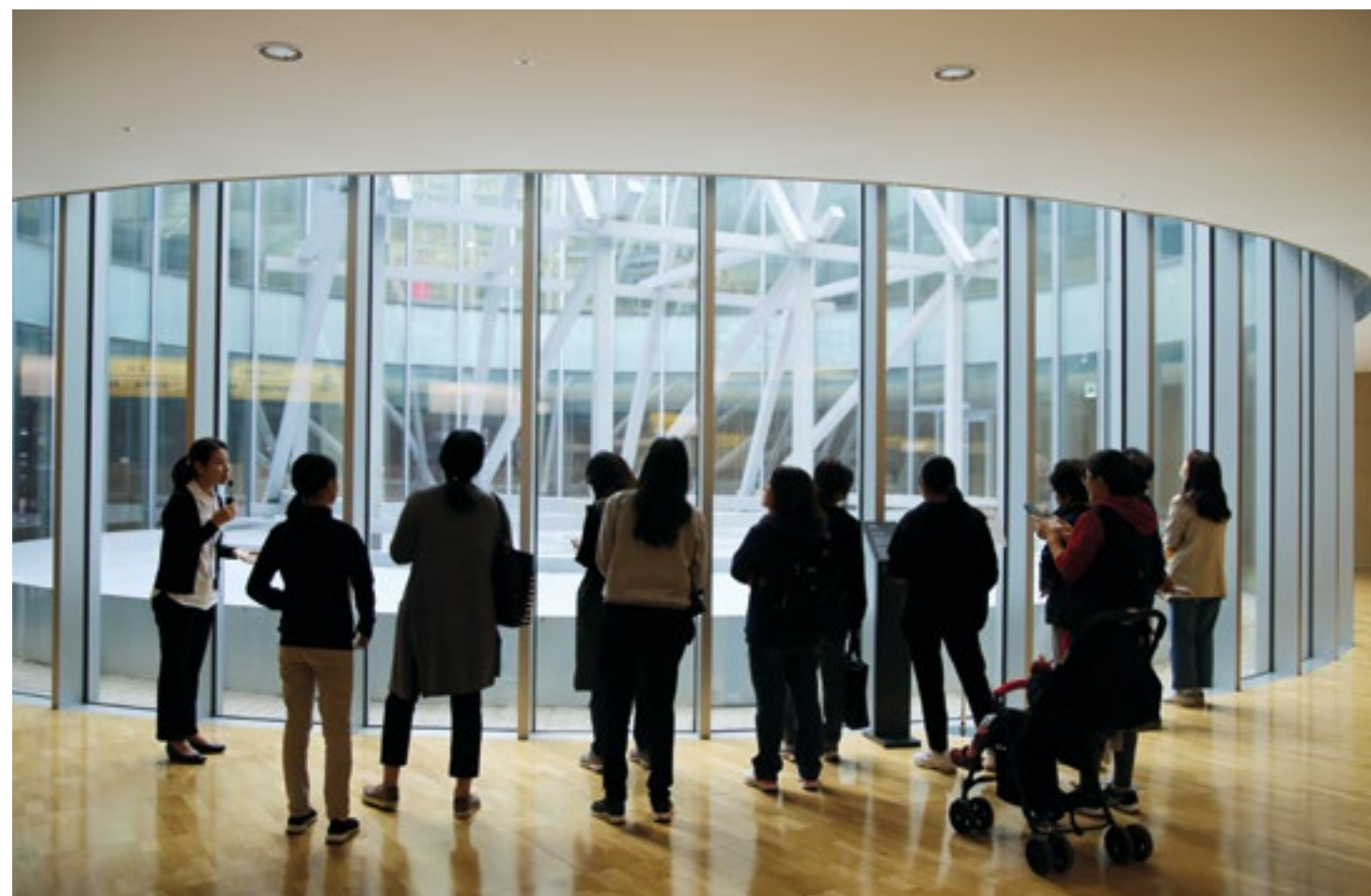
国立アジア文化殿堂は民主平和交流院(旧・全南道庁)を中心に、国内外の記念館・博物館と「民主・人権・平和ネットワーク」を構築している。5月の最初の民主・人権・平和ネットワークフォーラムを行い、12月には、バングラデシュ独立戦争記念館とカンボジアのトゥールスレン虐殺博物館との協力展示により、実質的な交流・協力関係を築くことになる。本展では特に、独裁・戦争・イデオロギー戦争という、両国の近現代における女性の人権について取り上げる。我々と同様の歴史を持つという点で、観客は民主・人権・平和の意味について振り返り、アジア人としてのコンセンサスを形成することができる。

📅 2019.12.20 ~ 2020.2.28 📍 文化創造院・複合6館
👤 全年齢向け 🎫 無料

国立アジア文化殿堂について教えて!

ACCツアー

ACC(Asia Culture Center)の成り立ちについてその歴史と概要、そしてACCを構成する5つの院(民主平和交流院、子供文化院、文化情報院、文化創造院、芸術劇場)の内外を、ツアー解説者のストーリーテリング形式で巡るツアープログラムです。



- ・費用: 無料
- ・所要時間: 約60分
- ・基本コース: 訪問者センター ▶ 民主平和交流院 ▶ 子供文化院
▶ 文化情報院 ▶ 文化創造院 ▶ 芸術劇場
- ・時間: 10:30 | 13:00 | 14:30 | 16:00 | 17:30(水・土)
- ・言語: 韓国語 | 英語 | 中国語 | 手話
- ・予約: オンライン | 現場
- ・スタート地点: 訪問者センター



ACC TEEN夏休み青少年進路トーク!写真

ACC TEEN 青少年向け名士招待特別講義

修学能力試験(センター試験)を終えた高校3年生向けの、「名士と共に過ごす温かい時間」として企画された教育プログラムです。

ACC TEEN青少年向け名士招待特別講義は、名士と一緒に青少年の夢と悩みについて話し合う「青少年向け進路トーク」です。修学能力試験(センター試験)を終えた高校3年生を対象に、大人になる最初の一歩を応援し、一緒に悩みを分かち合う時間をつくりたいという願いで企画されました。

- 📅 12月中 11:00
 - 📍 芸能劇場・劇場2(未定)
 - 👤 全年齢向け
 - 🆓 無料
- *後日、ACCホームページに掲

ACC CHILDREN

子供
文化院



Sia & fam

アジアへ旅立ちましょう!

子供体験館はアジアの豊かな物語をもって文化的な経験を提供することで、子どもたちの想像力とクリエイティブさを育てます。

子供体験館はアジアの多様な文化をベースに、自然と暮らし、知識と文明、音と音楽のエリアで構成されており、様々な展示と連携した体験プログラムを通じてアジアの人々の暮らしを理解し体験することができます。



自然と暮らし

アジアの自然環境をモチーフに、自然環境の中で生きるアジア人の暮らしを体験し、「アジアの自然」などの体験プログラムを通じて、アジアの暮らしと文化を理解することができます。



知識と文明

アジアの多様な建造物を通じて「アジアの建築」などを体験し、アジアの過去・現在・未来へと続く文明を体感することができます。



音と音楽

アジアの自然の音・言語・音楽に耳を傾け、対象別体験プログラム「アジアの音」などでアジアの音を体験することができます。



シアと仲間たちの虹の国探検

乳幼児の想像力を刺激する感性的な体験空間であり、思う存分遊ぶことのできる身体活動空間

シアと仲間たちの虹の国探検をテーマに構成した幼児向け遊び場。日常では経験できないファンタジーの世界に誘います。楽しい冒険の旅を通じて乳幼児の眠っている想像力を引き出します。「創造の遊び場」の中で、子どもたちは自由に遊びまわり、自分だけの物語を紡ぎます。

🕒 常時運営
👤 7歳以下

📍 子供文化院・幼児向け遊び場
💰 無料



子ども向け教育

アジア諸国の文化・芸術を題材にした様々な遊びや創作活動。子供の文化的感受性と創造性を育む教育プログラム。

文化多様性

アジアの国々や文化圏をベースに、テーマ中心の創作活動やプロジェクトを行うことで文化の多様性を理解してもらうためのプログラム

芸術創作

科学技術と芸術の想像力を組み合わせて新しく創造する過程を経験することのできる実験的な芸術・創作プログラム

連携展示

国立アジア文化殿堂の展示コンテンツと連携して行われるプログラム

団体

アジア文化をテーマに、幼児または小学生団体向けに行われる教育プログラム

特別

アジア文化をテーマに、夏と冬休みに行われる特別プログラム

ACC館内施設

※殿堂の有料観覧チケットで飲食施設が10%割引になります。



ACC憩いの場/ ACCカルチャーショップ

- 📍 文化情報院 ライブラリーパーク
- 🕒 日・火・木・金10:00～18:00、水・土10:00～19:00



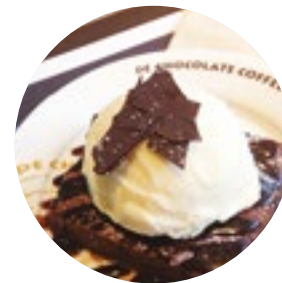
「シアと仲間たち」キャラクターグッズ専門店

- 📍 子供文化院ロビー
- 🕒 日・火・木・金10:00～18:00、水・土10:00～19:00



CAFE 38 BLOCK

- 📍 文化情報院 B2
- 🕒 火～金8:30～19:00、土・日10:00～20:00
- ☎ +82-62-710-8998



カフェ光(ピズ)

- 📍 芸術劇場 B4
- 🕒 公演日程によって営業時間が異なります。
- ☎ +82-62-710-8998



ACC森(スープ)

- 📍 民主平和交流院 B3(アジア文化広場音楽噴水そば)
- 🕒 月～金11:30～14:00(韓国料理ビュッフェ・職員食堂) 予約時11:00～22:00(宴会)
- ☎ +82-62-710-8998



シアの幸せな食卓

- 📍 子供文化院 B2
- 🕒 火～金11:00～14:00、土～日11:00～16:00
- ☎ +82-62-710-8998



KEBハナ銀行

- 📍 文化情報院 B2
- 🕒 月～金9:00～16:00
- ☎ +82-62-222-4111



セブンイレブン(コンビニエンスストア)

- 📍 文化情報院 B2
- 🕒 火～日8:00～22:00



ACC利用案内

開館時間

毎週火～日曜日10:00～18:00(毎週月曜日、1月1日休館)
毎週水・土曜日10:00～19:00(延長開館)
アジア文化広場8:00～22:00
※都合により開館時間に変更される場合があります

観覧料

民主平和交流院	無料
文化情報院	無料
芸術劇場	公演ごとに異なる
文化創造院	未就学児(保護者がチケットをお持ちの場合) 生後48ヵ月未満(保護者が発券する場合)無料
子供文化院 子供体験館	生後48ヵ月未満(保護者が発券する場合)無料 子ども(満4歳以上～14歳未満) 5,000ウォン 一般(満14歳以上) 3,000ウォン

※重複割引はできません

割引

文化のある日、障がい者、敬老優待、国家有功者、芸術家パス、文化パス、文化ヌリカード 50%割引

ACCリレーチケット、10名様以上の団体は20%割引

子供文化院(体験館) 20名様以上の団体は40%割引

※重複割引はできません

駐車案内

駐車案内

駐車場A(芸術劇場)、付設駐車場(野外) 毎日7:00～24:00

駐車場B(子供文化院) 8:00～22:00(都合により変更される場合があります)

※1月1日はご利用いただけません

料金

基本料金(最初の30分) 800ウォン/超過料金(15分ごと) 400ウォン

※1日の最大料金15,000ウォン/大型バスは一般料金の2倍を請求

※障がい者、国家有功者およびその家族、1,000cc以下の車、エコカーは50%割引

自動車割引について

※有料コンテンツ利用客や殿堂を訪れる大型バスなどには別途の割引率を適用します

ホームページ www.acc.go.kr

ウェブマガジン webzine.acc.go.kr

アーカイブ archive.acc.go.kr

SNS  facebook.com/asiaculturecenter

 blog.naver.com/asiaculturecenter

 twitter.com/WeloveACC

 instagram.com/asiaculturecenter

公共交通

バス 国立アジア文化殿堂駅下車 ※路線によって下車するバス停が異なります

幹線 | クムホ36、ポンソン37、ソンジョン98、ウンリム51、チウォン45、チョムダン95、クムナム58・59、ウンリム54

支線 | クムナム55・57、ムンファン80、ソッコク87、スワン12・49、プナム61、チウォン52・150・151・152・419・518・1187

急行 | 座席02、チョムダン09

空港 | 1000

地下鉄 文化殿堂駅下車(5、6番出口)

住所 〒61485 光州広域市東区文化殿堂路38(光山洞13) 国立アジア文化殿堂

お問い合わせ +82-1899-5566 (9:00～18:00、休館日:毎週月曜日)

※予約業務(9:00～17:00)

ACCプログラムガイド
冬号

—

ACC Program Guide Winter
#23

국립아시아문화전당은 행정 및 재정상의 자율성과 운영성과에 책임을 지는 운영기관입니다.

